



## 2022年3月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2021年8月6日

上場取引所 東

上場会社名 参天製薬株式会社  
 コード番号 4536 URL <https://www.santen.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長兼CEO (氏名) 谷内 樹生  
 問合せ先責任者(役職名) IR室 室長 (氏名) 板垣 香里 TEL 06-7664-8621

四半期報告書提出予定日 2021年8月11日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満四捨五入)

### 1. 2022年3月期第1四半期の連結業績(2021年4月1日~2021年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

IFRS(フル)ベース

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前四半期利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益		四半期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第1四半期	64,986	12.9	9,537	19.0	9,552	14.3	7,367	20.3	7,383	19.3	9,550	9.4
2021年3月期第1四半期	57,563	△2.7	8,016	△13.3	8,359	△7.1	6,124	△4.2	6,189	△3.3	8,734	260.4

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第1四半期	18.47	18.44
2021年3月期第1四半期	15.49	15.46

#### コアベース

	売上収益		コア営業利益		コア四半期利益		親会社の所有者に 帰属する コア四半期利益		基本的1株当たり コア四半期利益	希薄化後1株当たり コア四半期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭
2022年3月期第1四半期	64,986	12.9	11,713	0.5	9,026	2.5	9,036	1.8	22.60	22.56
2021年3月期第1四半期	57,563	△2.7	11,655	△8.9	8,807	△8.9	8,872	△8.3	22.21	22.16

#### (2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率	1株当たり親会社 所有者帰属持分
	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期第1四半期	397,096	311,041	311,602	78.5	779.72
2021年3月期	402,353	307,050	307,585	76.4	769.67

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	-	14.00	-	14.00	28.00
2022年3月期	-	-	-	-	-
2022年3月期(予想)	-	16.00	-	16.00	32.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日~2022年3月31日)

IFRS(フル)ベース

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前当期利益		当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	260,000	4.2	41,500	221.3	41,000	230.2	30,500	359.0	77.07

#### コアベース

	売上収益		コア営業利益		コア当期利益		基本的1株当たり コア当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	260,000	4.2	52,000	3.8	39,000	3.9	98.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

IFRS(フル)ベースの数値からコアベースの数値への調整内容は、添付資料P2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(1) 経営成績に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年3月期1Q	400,368,954株	2021年3月期	400,368,954株
② 期末自己株式数	2022年3月期1Q	550,049株	2021年3月期	549,909株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年3月期1Q	399,633,324株	2021年3月期1Q	399,371,208株

(注) 期末自己株式数には、株式報酬制度に係る信託が保有する当社株式（2021年3月期末 18,230株、2022年3月期1Q 18,230株）が含まれています。また、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めています。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいています。実際の業績等は、様々な要因により異なる結果となる可能性があります。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法)

当社は、2021年8月6日（金）に証券アナリスト、機関投資家向けの第1四半期決算カンファレンスコールを開催する予定です。この説明会で使用する資料は、開催後当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	8
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	8
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	9
(1) 要約四半期連結純損益及びその他の包括利益計算書 .....	9
(2) 要約四半期連結財政状態計算書 .....	10
(3) 要約四半期連結持分変動計算書 .....	12
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	14
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	15
(継続企業の前提に関する注記) .....	15
(重要な後発事象) .....	15
3. 連結参考資料 .....	16
(1) 主要製品売上収益 .....	16
(2) 開発状況 .....	17
(3) 設備投資、減価償却費及び償却費、製品に係る無形資産償却費並びに研究開発費 .....	19
(4) 主要通貨為替レート .....	19

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

① 当第1四半期連結累計期間の業績の状況

(ア) IFRS(フル)ベース

(単位:百万円)

	前第1四半期	当第1四半期	対前年同期増減率
売上収益	57,563	64,986	12.9%
営業利益	8,016	9,537	19.0%
四半期利益	6,124	7,367	20.3%
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	6,189	7,383	19.3%

[売上収益]

前年同期と比べ12.9%増加し、650億円となりました。

主力の医療用医薬品事業は、日本は薬価改定の影響がありましたが主力製品が堅調に推移したこと、前年同期の新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の影響からの回復など、全地域で売上伸長し、前年同期と比べ12.3%増加し、610億円となりました。

売上収益の内訳は次のとおりです。

上段:金額

下段:対前年同期増減率、( )は為替影響を除いた対前年同期増減率

(単位:百万円)

	日本	中国	アジア	EMEA	米州	合計
医療用医薬品	38,952	6,448	4,452	10,351	804	61,008
	11.0%	11.4%	15.3%	10.3%	262.2%	12.3%
	(-%)	(△1.1%)	(5.7%)	(△0.8%)	(254.3%)	(8.3%)
一般用医薬品	2,305	-	139	-	-	2,444
	16.7%	-	106.3%	-	-	19.7%
医療機器	695	-	-	353	97	1,145
	7.6%	-	-	93.7%	-	38.3%
その他	369	12	9	-	-	389
	16.3%	△29.6%	△62.3%	-	-	9.0%
合計	42,321	6,460	4,600	10,704	901	64,986
	11.3%	11.2%	16.4%	11.9%	305.8%	12.9%

(注) 外部顧客に対する売上収益を表しています。

顧客の所在地をもとに国又は地域に分類しています。なお、アジアには中国を含んでいません。

EMEAは、欧州、中東及びアフリカです。

<医療用医薬品>

◇日本

前年同期と比べ11.0%増加し、390億円となりました。主力製品の売上は次のとおりです。

・緑内障・高眼圧症治療剤領域			
「タプロス点眼液」	23億円	（対前年同期増減率	△ 3.9%）
「タプコム配合点眼液」	7億円	（対前年同期増減率	+ 5.7%）
「エイベリス点眼液」	8億円	（対前年同期増減率	+ 36.8%）
・角結膜疾患治療剤領域			
「ジクアス点眼液」	34億円	（対前年同期増減率	+ 13.0%）
・抗アレルギー点眼剤領域			
「アレジオン点眼液※1（P5参照）」	50億円	（対前年同期増減率	+ 65.3%）
・網膜疾患治療剤領域			
「アイリーア硝子体内注射液※2（P5参照）」	187億円	（対前年同期増減率	+ 11.5%）

◇中国

円換算ベースで前年同期と比べ11.4%増加し（為替影響を除いた成長率は△1.1%）、64億円となりました。なお、中国において新製品であるジクアス点眼液及びタプロス点眼液の販売促進強化を行うとともに、主力製品であるクラビット点眼液及びヒアレイ点眼液は、集中購買による影響を受けつつも、引き続き私立病院や薬局など他のチャンネルでの拡販に注力しています。なお、主力製品の売上は次のとおりです。

・緑内障・高眼圧症治療剤領域			
「タプロス点眼液」	3億円	（対前年同期増減率	+134.2%）
・角結膜疾患治療剤領域			
「ジクアス点眼液」	7億円	（対前年同期増減率	+886.0%）
「ヒアレイ点眼液」	21億円	（対前年同期増減率	△ 8.7%）
・眼感染症治療剤領域			
「クラビット点眼液」	18億円	（対前年同期増減率	△ 19.7%）

◇アジア（中国除く）

円換算ベースで前年同期と比べ15.3%増加し（為替影響を除いた成長率は+5.7%）、45億円となりました。主力製品の売上は次のとおりです。

・緑内障・高眼圧症治療剤領域			
「タプロス点眼液」	5億円	（対前年同期増減率	+ 6.2%）
「タプコム配合点眼液」	2億円	（対前年同期増減率	+ 42.4%）
「コソプト配合点眼液」	12億円	（対前年同期増減率	+ 18.2%）
・角結膜疾患治療剤領域			
「ジクアス点眼液」	4億円	（対前年同期増減率	△ 6.5%）
・眼感染症治療剤領域			
「クラビット点眼液」	5億円	（対前年同期増減率	+ 30.6%）

◇EMEA

円換算ベースで前年同期と比べ10.3%増加し（為替影響を除いた成長率は△0.8%）、104億円となりました。主力製品の売上は次のとおりです。

・緑内障・高眼圧症治療剤領域			
「タプロス点眼液」	16億円	（対前年同期増減率	△ 4.6%）
「タプコム配合点眼液」	9億円	（対前年同期増減率	+ 17.8%）
「コソプト配合点眼液」	26億円	（対前年同期増減率	+ 4.1%）
「トルソプト点眼液」	8億円	（対前年同期増減率	+ 15.6%）
・角結膜疾患治療剤領域			
「Ikervis（アイケルビス）」	14億円	（対前年同期増減率	+ 88.5%）

◇米州

円換算ベースで8億円となりました。なお、米州の売上収益に含まれる、前年第2四半期に買収したEyevance Pharmaceuticals Holdings Inc.（米国）の売上収益は6億円です。

<一般用医薬品>

前年同期と比べ19.7%増加し、24億円となりました。

「サンテメディカルシリーズ」「サンテボーティエシリーズ」「ソフトサンティアシリーズ」などの高価格帯品に加え、スイッチOTC製品「ヒアレインS」、発売から本年30周年を迎えた「サンテFXシリーズ」に注力しています。

<医療機器>

前年同期と比べ38.3%増加し、11億円となりました。

日本において眼内レンズの「レンティス コンフォート」、EMEAにおいて緑内障用デバイスのPRESERFLO MicroShunt（プリザーフロ マイクロシャント）が順調に推移しています。

<その他>

その他の売上収益は4億円となりました。サプリメント製品の販売、株式会社クレール（連結子会社）での無塵・無菌服のクリーニング業によるものです。

[営業利益]

売上総利益は、前年同期と比べ16.0%増加し、381億円となりました。

IFRS（フル）ベースの販売費及び一般管理費は、前年同期と比べ31.5%増加し、204億円となりました。後述のコアベースの販売費及び一般管理費202億円に加え、Eyevance Pharmaceuticals Holdings Inc.（米国）の統合業務等の一過性の費用等が2億円発生しました。

研究開発費は、前年同期と比べ9.0%増加し、61億円となりました。

製品に係る無形資産償却費は、前年同期と比べ16.7%減少し、20億円となりました。これは主に、Merck & Co., Inc.（米国）から2014年に譲り受けた眼科製品に関する無形資産、2015年より欧州で販売を開始した「Ikervis（アイケルビス）」に関する無形資産、並びに2016年のInnFocus, Inc.（米国）買収に伴い取得したSTN2000100（DE-128、PRESERFLO MicroShunt（プリザーフロ マイクロシャント））に関する無形資産（2019年4月より償却開始）の償却によるものです。

その他の収益は、1億円となりました。

その他の費用は、0億円となりました。

これらにより、IFRS（フル）ベースの営業利益は、前年同期と比べ19.0%増加し、95億円となりました。

[四半期利益]

金融収益は、6億円となりました。

金融費用は、3億円となりました。

持分法による投資損失は、3億円となりました。これはVerily Life Sciences LLC（米国）との合弁会社であるTwenty Twenty Therapeutics LLC（米国）の損益のうち、当社の持分に帰属する金額を計上したものです。

法人所得税費用は、22億円となりました。税効果が認識されないInnFocus, Inc.（米国）買収に伴う条件付対価の公正価値変動額が前年同期と比べ減少したことにより、税負担率は前年同期より低下しました。

これらにより、四半期利益は、前年同期と比べ20.3%増加し、74億円となりました。

[親会社の所有者に帰属する四半期利益]

親会社の所有者に帰属する四半期利益は、前年同期と比べ19.3%増加し、74億円となりました。売上収益に対するその比率は、11.4%となりました。

※1 アレジオンLX点眼液を含みます。

※2 製造販売元であるバイエル薬品株式会社とのコ・プロモーション製品です。

（イ）コアベース ※3

（単位：百万円）

	前第1四半期	当第1四半期	対前年同期増減率
売上収益	57,563	64,986	12.9%
コア営業利益	11,655	11,713	0.5%
コア四半期利益	8,807	9,026	2.5%
親会社の所有者に帰属する コア四半期利益	8,872	9,036	1.8%

[売上収益]

IFRS（フル）ベースからの調整はありません。

[コア営業利益]

売上総利益について、IFRS（フル）ベースからの調整はありません。

販売費及び一般管理費は、前年同期と比べ30.1%増加し、202億円となりました。なお、IFRS（フル）ベースからの調整内容については、前述の[営業利益]に記載のとおりです。

研究開発費は、IFRS（フル）ベースからの調整はありません。

以上により、コアベースでの営業利益は、前年同期と比べ0.5%増加し、117億円となりました。

※3 Santenグループでは2015年3月期のIFRS適用を機に、IFRSによる業績（「IFRS（フル）ベース」）から一部の収益及び費用を控除した「コアベース」での財務情報を経常的な業績を示す指標として開示しています。IFRS（フル）ベースによる業績からコアベースでの業績への調整において控除する以下の収益及び費用とそれらに係る法人所得税費用を調整し、コアベースを算出しています。

- ・製品に係る無形資産償却費
- ・その他の収益
- ・その他の費用
- ・金融収益
- ・金融費用
- ・持分法による投資損益
- ・販売費及び一般管理費のうち企業買収などに係る一過性費用



② 研究開発活動

<緑内障・高眼圧症領域>

プロスタグランジンF<sub>2</sub>α誘導体及びβ遮断剤の配合剤STN1011101（DE-111A、一般名：タフルプロスト／チモロールマレイン酸塩）は、中国で2019年1月に第Ⅲ相試験を開始しました。

EP2受容体作動薬STN1011700（DE-117、一般名：オミデネパグ イソプロピル）は、米国で2020年11月に販売承認を申請しました。日本では2018年11月に発売しました。アジアでは、順次販売承認を申請しており、韓国で2021年2月に発売しました。

FP/EP3受容体デュアル作動薬STN1012600（DE-126、一般名：sepetaprost）は、米国で2020年12月に追加の第Ⅱ相試験を開始しました。日本では、後期第Ⅱ相試験を完了しています。

緑内障用デバイスSTN2000100（DE-128）\*は、日本で2021年5月に販売承認を申請しました。欧州で2019年4月に発売しました。アジアでは、2020年3月以降順次販売承認を申請しています。韓国で2021年4月に非承認通知を受取り、再申請を検討中です。

プロスタグランジンF<sub>2</sub>α誘導体の乳化点眼剤STN1013001（DE-130A、一般名：ラタノプロスト）は、欧州及びアジアで2019年4月に第Ⅲ相試験を開始しました。

ROCK阻害剤STN1013900（AR-13324、一般名：netarsudil dimesylate）は、日本で2020年11月に第Ⅲ相試験を開始しました。

\*2021年5月に、米州、オーストラリア及びニュージーランドでの製品開発、商業化及び販売の権利をGlaukos Corporation（米国、以下、Glaukos社）へ供与しました。米国では2020年6月に市販前承認（PMA）の段階的申請を完了し、2021年2月末に米国食品医薬品局（FDA）から審査に関するフィードバックを受け、以降協議を実施しています。カナダで2021年3月に販売承認を取得しており、Glaukos社にて上市準備中です。オーストラリアで2021年5月に販売承認を取得しました。

<角結膜疾患（ドライアイを含む）領域>

春季カタルを対象とするSTN1007603（DE-076C、一般名：シクロスポリン）は、欧州、アジア、カナダなど既に承認・販売されている諸国に続き、中国では2021年4月に新薬承認申請が受理されました。米国では2020年10月に新薬承認申請が受理され、2021年6月に承認を取得しました。

ドライアイを対象とするSTN1008903（DE-089C、一般名：ジクアホソルナトリウム）は、日本で第Ⅲ相試験を終了しました。

<網膜・ぶどう膜疾患領域>

ぶどう膜炎を対象とするSTN1010900（DE-109、一般名：シロリムス）は、米国で2018年12月に追加の第Ⅲ相試験を開始しました。

<新規疾患領域>

近視を対象とするSTN1012700（DE-127、一般名：アトロピン硫酸塩）は、アジアで2020年4月に第Ⅱ相試験を終了しました。日本では、2019年8月に第Ⅱ／Ⅲ相試験を開始しました。

近視を対象とするSTN1013400（化合物名：AFDX0250BS）は、日本で2021年7月にフェーズ1試験を開始しました。

※開発コードの附番方法変更に伴い、新開発コード（STNXXXXXXXX）及び既存開発コード（DE-XXX）を併記しています。なお、AR-13324はAerie Pharmaceuticals, Inc.での開発コードです。

（2）財政状態に関する説明

① 資産、資本及び負債の状況

当第1四半期末の資産は、3,971億円となりました。有形固定資産の増加などがあった一方、配当金及び法人所得税等の支払いによる現金及び現金同等物の減少などにより前期末と比べ53億円減少しました。

資本は、3,110億円となりました。その他の資本の構成要素及び利益剰余金の増加などにより前期末と比べ40億円増加しました。

負債は、861億円となりました。営業債務及びその他の債務の減少並びに法人所得税等の支払による未払法人所得税等の減少などにより前期末と比べ92億円減少しました。

以上の結果、親会社所有者帰属持分比率は、前期末と比べ2.1ポイント増加し、78.5%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第1四半期の営業活動によるキャッシュ・フローは、25億円の収入（前年同期は、74億円の収入）となりました。主に四半期利益が74億円（前年同期は、61億円）、営業債務及びその他の債務の減少47億円、法人所得税の支払41億円、減価償却費及び償却費38億円によるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、49億円の支出（前年同期は、106億円の支出）となりました。主に無形資産の取得による支出が26億円及び有形固定資産の取得による支出21億円によるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、62億円の支出（前年同期は、60億円の支出）となりました。主に配当金の支払い55億円によるものです。

以上の結果、現金及び現金同等物の当第1四半期末残高は、前期末と比べ82億円減少し、547億円となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期の業績は、概ね予定通り推移しており、2021年5月11日に公表した業績予想からの変更はございません。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結純損益及びその他の包括利益計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
売上収益	57,563	64,986
売上原価	△24,741	△26,924
売上総利益	32,822	38,062
販売費及び一般管理費	△15,551	△20,447
研究開発費	△5,616	△6,121
製品に係る無形資産償却費	△2,448	△2,040
その他の収益	176	120
その他の費用	△1,367	△39
営業利益	8,016	9,537
金融収益	530	590
金融費用	△187	△277
持分法による投資損失	—	△297
税引前四半期利益	8,359	9,552
法人所得税費用	△2,235	△2,185
四半期利益	6,124	7,367
その他の包括利益		
純損益に振り替えられない項目：		
確定給付制度の再測定	—	—
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産の純変動	2,752	1,290
純損益に振り替えられる可能性のある項目：		
在外営業活動体の換算差額	△142	902
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	—	△8
その他の包括利益	2,610	2,183
四半期包括利益合計	8,734	9,550
四半期利益の帰属		
親会社の所有者持分	6,189	7,383
非支配持分	△65	△15
四半期利益	6,124	7,367
四半期包括利益合計の帰属		
親会社の所有者持分	8,798	9,576
非支配持分	△64	△26
四半期包括利益合計	8,734	9,550
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益（円）	15.49	18.47
希薄化後1株当たり四半期利益（円）	15.46	18.44
<コアベース>		
売上収益	57,563	64,986
コア営業利益	11,655	11,713
コア四半期利益	8,807	9,026
基本的1株当たりコア四半期利益（円）	22.21	22.60
希薄化後1株当たりコア四半期利益（円）	22.16	22.56
コア四半期利益の帰属		
親会社の所有者持分	8,872	9,036
非支配持分	△65	△10
コア四半期利益	8,807	9,026

（2）要約四半期連結財政状態計算書

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
資産		
非流動資産		
有形固定資産	39,489	41,644
無形資産	112,876	113,322
金融資産	31,903	34,025
退職給付に係る資産	1,619	1,391
持分法で会計処理されている投資	5,162	4,856
繰延税金資産	2,824	3,014
その他の非流動資産	2,249	1,836
非流動資産合計	196,122	200,089
流動資産		
棚卸資産	41,575	40,671
営業債権及びその他の債権	95,992	94,039
その他の金融資産	527	401
その他の流動資産	5,248	7,196
現金及び現金同等物	62,888	54,699
流動資産合計	206,231	197,007
資産合計	402,353	397,096

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
<b>資本</b>		
親会社の所有者に帰属する持分		
資本金	8,525	8,525
資本剰余金	8,954	8,992
自己株式	△934	△934
利益剰余金	270,757	272,724
その他の資本の構成要素	20,283	22,295
親会社の所有者に帰属する持分合計	307,585	311,602
非支配持分	△535	△561
資本合計	307,050	311,041
<b>負債</b>		
非流動負債		
金融負債	10,141	10,045
退職給付に係る負債	1,210	1,231
引当金	600	609
繰延税金負債	3,290	5,175
その他の非流動負債	1,514	836
非流動負債合計	16,754	17,897
流動負債		
営業債務及びその他の債務	38,106	33,743
その他の金融負債	23,739	22,950
未払法人所得税等	5,458	2,316
引当金	819	946
その他の流動負債	10,428	8,203
流動負債合計	78,549	68,158
負債合計	95,303	86,055
資本及び負債合計	402,353	397,096

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

(単位:百万円)

	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の資本の構成要素	
					確定給付制度の再測定	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産の純変動
2020年4月1日残高	8,366	8,746	△1,033	273,422	—	11,150
四半期包括利益						
四半期利益				6,189		
その他の包括利益						2,752
四半期包括利益合計	—	—	—	6,189	—	2,752
所有者との取引額						
新株の発行	45	45				
配当金				△5,592		
株式報酬取引		43				
所有者との取引額合計	45	88	—	△5,592	—	—
2020年6月30日残高	8,411	8,833	△1,033	274,018	—	13,902

	その他の資本の構成要素				親会社の所有者に帰属する持分合計	非支配持分	資本合計
	在外営業活動体の換算差額	持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	新株予約権	合計			
2020年4月1日残高	1,529	—	686	13,364	302,865	△305	302,560
四半期包括利益							
四半期利益				—	6,189	△65	6,124
その他の包括利益	△143			2,609	2,609	1	2,610
四半期包括利益合計	△143	—	—	2,609	8,798	△64	8,734
所有者との取引額							
新株の発行			△10	△10	80		80
配当金				—	△5,592		△5,592
株式報酬取引				—	43		43
所有者との取引額合計	—	—	△10	△10	△5,470	—	△5,470
2020年6月30日残高	1,386	—	676	15,963	306,193	△369	305,824

当第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

(単位:百万円)

	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の資本の構成要素	
					確定給付制度の再測定	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産の純変動
2021年4月1日残高	8,525	8,954	△934	270,757	—	11,075
四半期包括利益						
四半期利益				7,383		
その他の包括利益						1,290
四半期包括利益合計	—	—	—	7,383	—	1,290
所有者との取引額						
自己株式の取得			△0			
配当金				△5,598		
株式報酬取引		38				
その他				182		△182
所有者との取引額合計	—	38	△0	△5,416	—	△182
2021年6月30日残高	8,525	8,992	△934	272,724	—	12,183

	その他の資本の構成要素				親会社の所有者に帰属する持分合計	非支配持分	資本合計
	在外営業活動体の換算差額	持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	新株予約権	合計			
2021年4月1日残高	8,519	170	518	20,283	307,585	△535	307,050
四半期包括利益							
四半期利益				—	7,383	△15	7,367
その他の包括利益	912	△8		2,194	2,194	△11	2,183
四半期包括利益合計	912	△8	—	2,194	9,576	△26	9,550
所有者との取引額							
自己株式の取得				—	△0		△0
配当金				—	△5,598		△5,598
株式報酬取引				—	38		38
その他				△182	—		—
所有者との取引額合計	—	—	—	△182	△5,560	—	△5,560
2021年6月30日残高	9,431	162	518	22,295	311,602	△561	311,041

（4）要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2020年4月1日 至 2020年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2021年4月1日 至 2021年6月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
四半期利益	6,124	7,367
減価償却費及び償却費	4,116	3,814
減損損失	114	7
持分法による投資損益（△は益）	—	297
金融収益及び金融費用（△は益）	△242	△273
法人所得税費用	2,235	2,185
営業債権及びその他の債権の増減（△は増加）	4,923	2,133
棚卸資産の増減（△は増加）	△3,235	1,242
営業債務及びその他の債務の増減（△は減少）	1,210	△4,662
引当金及び退職給付に係る負債の増減（△は減少）	322	368
未払賞与の増減（△は減少）	△2,753	△3,746
その他	491	△2,341
小計	13,304	6,391
利息の受取額	23	48
配当金の受取額	243	248
利息の支払額	△39	△52
法人所得税の支払額	△6,086	△4,094
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,445	2,540
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資の取得による支出	△2,202	△523
投資の売却による収入	—	383
有形固定資産の取得による支出	△1,330	△2,126
無形資産の取得による支出	△7,024	△2,614
その他	△8	△2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△10,564	△4,882
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	113	—
配当金の支払額	△5,520	△5,512
リース負債の返済による支出	△684	△661
その他	80	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△6,012	△6,173
現金及び現金同等物の増減額	△9,130	△8,515
現金及び現金同等物の期首残高	91,430	62,888
現金及び現金同等物の為替変動による影響	46	326
現金及び現金同等物の四半期末残高	82,346	54,699



（5）要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（重要な後発事象）

該当事項ありません。

3. 連結参考資料

(1) 主要製品売上収益

(単位: 百万円)

品目名 (有効成分・剤形)	薬効成分	地域	2021年3月期				2022年3月期			
			第1四半期 累計実績	対前年 伸長率	通期 実績	対前年 伸長率	第1四半期 累計実績	対前年 伸長率	通期 見込	対前年 伸長率
クラビット点眼液 (レボフロキサシン点眼液)	合成抗菌点眼剤	合計	3,291	△27.7%	12,650	△16.7%	3,063	△6.9%	12,147	△4.0%
		日本	521	△27.8%	1,971	△23.3%	488	△6.4%	1,592	△19.3%
		中国	2,186	△27.1%	7,927	△16.6%	1,754	△19.7%	7,859	△0.9%
		アジア EMEA	386 197	△13.7% △48.6%	1,722 1,029	△0.2% △25.1%	505 316	30.6% 60.3%	1,786 910	3.7% △11.6%
タリビッド点眼液 (オフロキサシン点眼液)	合成抗菌点眼剤	合計	319	△22.1%	1,427	△3.1%	386	21.1%	1,215	△14.9%
		日本	89	△20.6%	337	△18.6%	87	△1.7%	279	△17.3%
		中国	149	△17.0%	683	16.8%	213	43.4%	688	0.7%
		アジア	82	△31.4%	406	△14.1%	86	5.4%	247	△39.2%
タブコム配合点眼液 (タフルプロスト/ チモロールマレイン酸塩点眼液)	緑内障治療剤	合計	1,529	12.7%	6,036	11.7%	1,747	14.3%	6,566	8.8%
		日本	685	2.5%	2,604	3.3%	724	5.7%	2,403	△7.7%
		アジア	122	24.1%	546	42.6%	173	42.4%	763	39.8%
		EMEA	722	22.4%	2,886	15.4%	850	17.8%	3,399	17.8%
タブロス点眼液 (タフルプロスト点眼液)	緑内障治療剤	合計	4,672	0.2%	17,915	0.1%	4,683	0.2%	20,564	14.8%
		日本	2,372	△1.0%	8,709	△4.5%	2,281	△3.9%	8,738	0.3%
		中国	114	33.8%	602	52.4%	266	134.2%	2,788	362.8%
		アジア EMEA	461 1,725	△8.1% 2.8%	1,907 6,696	0.8% 3.2%	490 1,646	6.2% △4.6%	2,105 6,933	10.4% 3.5%
コソプト配合点眼液 (ドルゾラミド塩酸塩/ チモロールマレイン酸塩点眼液)	緑内障治療剤	合計	5,609	3.9%	20,877	△0.8%	5,437	△3.1%	19,597	△6.1%
		日本	2,042	3.3%	6,940	△10.1%	1,576	△22.8%	5,173	△25.5%
		アジア	1,050	0.2%	4,462	10.1%	1,240	18.2%	4,778	7.1%
		EMEA	2,516	6.0%	9,475	2.2%	2,621	4.1%	9,646	1.8%
チモプトール点眼液 (チモロールマレイン酸塩点眼液) (* チモプトールXE点眼液を含む)	緑内障治療剤	合計	614	△9.9%	2,196	△12.3%	565	△8.1%	1,859	△15.3%
		日本	322	△14.7%	1,137	△15.7%	283	△12.0%	789	△30.6%
		アジア	92	35.4%	264	17.2%	78	△16.0%	294	11.1%
		EMEA	200	△15.2%	794	△14.5%	204	1.9%	777	△2.2%
トルソプト点眼液 (ドルゾラミド塩酸塩点眼液)	緑内障治療剤	合計	1,082	△6.7%	4,365	△1.3%	1,169	8.1%	3,862	△11.5%
		日本	350	△3.2%	1,227	△9.1%	310	△11.7%	1,009	△17.8%
		アジア	67	△42.7%	344	△16.2%	92	37.5%	308	△10.7%
		EMEA	664	△2.3%	2,794	4.9%	768	15.6%	2,546	△8.9%
エイベリス点眼液 (オミデナバグ イソプロピル点眼液)	緑内障治療剤	合計	589	106.6%	2,536	55.7%	823	39.6%	3,696	45.7%
		日本	589	106.6%	2,516	54.4%	806	36.8%	3,612	43.6%
アレジオン点眼液 (エピナスチン塩酸塩点眼液) (* アレジオンLX点眼液を含む)	抗アレルギー点眼剤	合計	3,047	43.8%	32,752	31.5%	5,065	66.2%	32,368	△1.2%
		日本	3,047	43.8%	32,733	31.4%	5,038	65.3%	32,225	△1.6%
		アジア	-	-	19	-	28	-	143	663.1%
フルメトロン点眼液 (フルオロメトロン点眼液)	抗炎症点眼剤	合計	650	△19.6%	2,812	△6.2%	834	28.4%	2,961	5.3%
		日本	242	△20.8%	1,052	△17.3%	222	△8.1%	924	△12.1%
		中国	325	△14.7%	1,392	12.0%	528	62.5%	1,676	20.4%
		アジア	83	△31.9%	368	△23.5%	84	1.1%	361	△1.9%
ピレノキシン懸濁性点眼液 (ピレノキシン点眼液)	老人性白内障治療剤	合計	974	△2.6%	3,995	△1.5%	1,077	10.6%	4,025	0.7%
		日本	616	△4.8%	2,391	△4.4%	617	0.2%	2,354	△1.5%
		中国	189	27.9%	771	9.6%	222	17.4%	717	△7.1%
		アジア	169	△17.5%	832	△2.3%	238	40.6%	954	14.6%
Oftan Catachrom (オフトンカタクロム) (チトクロームC/アデノシン/ ニコチンアミド含有点眼液)	老人性白内障治療剤	合計	870	47.8%	1,830	△18.3%	379	△56.4%	1,767	△3.5%
		EMEA	870	47.8%	1,830	△18.3%	379	△56.4%	1,767	△3.5%
ヒアルロン酸Na眼粘弾剤 (ヒアルロン酸ナトリウム眼科手術補助剤)	眼科手術補助剤	合計	527	△7.0%	2,189	△18.1%	544	3.0%	2,414	10.3%
		日本	527	△7.0%	2,189	△18.1%	544	3.0%	2,414	10.3%
アイリーア硝子体内注射液 (アフリベルセプト(遺伝子組換え) 硝子体内注射液)	眼科用VEGF阻害剤	合計	16,802	10.9%	64,454	7.2%	18,727	11.5%	65,038	0.9%
		日本	16,802	10.9%	64,454	7.2%	18,727	11.5%	65,038	0.9%
ヒアレイン点眼液 (ヒアルロン酸ナトリウム点眼液)	角結膜疾患治療剤	合計	4,523	△8.6%	18,420	4.6%	4,251	△6.0%	14,932	△18.9%
		日本	1,815	△15.2%	6,967	△11.2%	1,721	△5.2%	5,893	△15.4%
		中国	2,349	△2.8%	9,259	17.9%	2,145	△8.7%	6,918	△25.3%
		アジア	359	△8.4%	2,194	15.2%	386	7.6%	2,121	△3.3%
ジクアス点眼液 (ジクアホソルナトリウム点眼液)	角結膜疾患治療剤	合計	3,551	△19.9%	14,403	△9.8%	4,537	27.8%	17,935	24.5%
		日本	3,012	△16.4%	12,283	△13.8%	3,402	13.0%	13,249	7.9%
		中国	71	132.3%	717	328.6%	697	886.0%	2,782	288.3%
		アジア	468	△41.4%	1,404	△9.2%	438	△6.5%	1,904	35.6%
Ikervis(アイケルビス) (シクロスポリン点眼液)	角結膜疾患治療剤	合計	939	2.1%	4,529	17.6%	1,656	76.3%	5,553	22.6%
		アジア	191	11.8%	890	20.6%	246	28.5%	1,368	53.7%
		EMEA	748	△0.1%	3,638	16.9%	1,410	88.5%	4,184	15.0%
Cationorm(カチオノーム)	角結膜疾患治療剤	合計	672	△6.0%	3,062	5.2%	829	23.4%	3,420	11.7%
		アジア	71	50.3%	256	△3.3%	103	45.7%	337	31.7%
		EMEA	438	△12.3%	1,969	△5.9%	532	21.3%	2,315	17.6%
		米州	163	△2.8%	838	50.9%	194	19.2%	768	△8.3%
レンティス コンフォート	白内障治療用 眼内レンズ	合計	215	17.4%	1,196	12.3%	341	58.8%	2,058	72.0%
		日本	215	17.4%	1,196	12.3%	341	58.8%	2,058	72.0%
PRESERFLO MicroShunt(ブリザーフロ マイ クロシャント)	緑内障用デバイス	合計	174	99.4%	892	230.0%	347	99.5%	1,500	68.0%
		EMEA	174	99.4%	892	230.0%	347	99.5%	1,440	61.5%
一般用医薬品		合計	2,043	△45.0%	9,410	△21.8%	2,444	19.7%	10,000	6.3%
		日本	1,975	△45.7%	9,058	△22.7%	2,305	16.7%	9,700	7.1%
		アジア	67	△11.2%	352	12.7%	139	106.3%	300	△14.7%

※上記の見込等は、現在において入手可能な情報に基づいて作成しています。実際の業績等は、事業環境変化などにより、大きく結果が異なる可能性があります。通期見込については想定為替レートで換算して表示しています。なお、地域別は主要国地域を記載しています。

（2）開発状況

2021年7月時点

■開発状況一覧表（臨床段階）

一般名	開発コード	効能・効果	自社／導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
シクロスポリン	STN1007603 / DE-076C	春季カタル	自社	米国				2021年6月		
				中国				2021年4月		
免疫抑制作用により、春季カタルの症状を改善する乳化点眼剤。カチオン性製剤技術により組織移行性を高めた製剤。欧州で、2018年10月以降順次発売。アジアで、2019年8月にIkervisの適応拡大として承認を取得以降、順次発売。カナダで、2019年11月に発売。米国で、2021年6月に販売承認を取得。中国で、2021年4月に販売承認を申請。										
ジクアホソルナトリウム	STN1008903 / DE-089C	ドライアイ	Merck Sharp & Dohme Corp. (米国)	日本						
角結膜上皮からムチンや水分の分泌を促すドライアイ治療剤。持続製剤。日本で、フェーズ3試験を終了。										
シロリムス	STN1010900 / DE-109	ぶどう膜炎	自社	米国						
				日本						
				欧州						
				アジア				2015年4月		
免疫抑制作用、血管新生抑制作用などを有する硝子体内注射剤。米国で、2018年12月に追加のフェーズ3試験を開始。アジアで、2015年4月に販売承認を申請。										
タフルプロスト／チモロールマレイン酸塩	STN1011101 / DE-111A	緑内障・高眼圧症	AGCと共同開発	中国						
プロスタグランジンF <sub>2α</sub> 誘導体及びβ遮断剤の配合剤。2014年11月、日本で発売。2015年1月以降、欧州で順次発売。2016年4月以降、アジアで順次発売。中国で、2019年1月にフェーズ3試験を開始。										
オミデネパグイソプロピル	STN1011700 / DE-117	緑内障・高眼圧症	宇部興産と共同開発	米国				2020年11月		
				日本				2018年11月		
				アジア				2021年2月		
新規メカニズムのEP2受容体作動薬。米国で、2020年11月に販売承認を申請。日本で、2018年11月に発売。アジアでは順次販売承認を申請しており、韓国で2021年2月に発売。										
sepetaprost	STN1012600 / DE-126	緑内障・高眼圧症	小野薬品工業	米国						
FP受容体及びEP3受容体への作動作用（デュアル作動薬）を有する新規メカニズムのプロスタグランジン誘導体の緑内障・高眼圧症治療剤。米国で、2020年12月に追加のフェーズ2試験を開始。日本で、フェーズ2b試験を完了。										
アトロピン硫酸塩	STN1012700 / DE-127	近視	Singapore Health Services社、南洋理工大	日本	(フェーズ2 / 3)					
				アジア						
小児における近視の進行を抑制する非選択的ムスカリン受容体拮抗薬。日本で、2019年8月にフェーズ2 / 3試験を開始。アジアで、2020年4月にフェーズ2試験を終了。										
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
緑内障用デバイス	STN2000100* / DE-128	緑内障	自社	日本				2021年5月		
				欧州				2019年4月		
				アジア				2020年3月		
原発開放隅角緑内障における眼圧下降を目的とし、房水の流出を促すインプラント手術用デバイス。日本で、2021年5月に販売承認を申請。欧州にて2019年4月に発売。アジアでは、2020年3月以降順次販売承認を申請。韓国で、2021年4月に非承認通知を受理、再申請を検討中。										

\*2021年5月に、米州、オーストラリア及びニュージーランドでの製品開発、商業化及び販売の権利をGlaukos社へ供与。米国では、2020年6月に市販前承認（PMA）の段階的申請を完了、2021年2月末に米国食品医薬品局（FDA）から審査に関するフィードバックを受け、以降協議を実施中。カナダで2021年3月に販売承認を取得しており、Glaukos社にて上市準備中。オーストラリアで、2021年5月に販売承認を取得。

一般名	開発コード	効能・効果	自社／導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
ラタノプロスト	STN1013001 / DE-130A (Catioprost)	緑内障・高眼圧症	自社	欧州 アジア						
プロスタグランジンF <sub>2</sub> α誘導体の緑内障・高眼圧症治療用乳化点眼剤。欧州及びアジアで、2019年4月にフェーズ3試験を開始。										

化合物名	開発コード	効能・効果	自社／導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
AFDX0250BS	STN1013400	近視	ベーリンガーインゲルハイム	日本						
小児における近視の進行を抑制する選択的ムスカリンM2受容体拮抗薬。特定のサブタイプを選択的に阻害するため、散瞳が抑えられる。日本で、2021年7月にフェーズ1試験を開始。										

一般名	開発コード	効能・効果	自社／導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
netarsudil dimesylate	STN1013900 / AR-13324	緑内障・高眼圧症	Aerie社	日本						
ROCK (Rhoキナーゼ) 阻害剤。米国では、Aerie社が開発し販売中。日本で、2020年11月にフェーズ3試験を開始。										

■2020年度第4四半期決算発表時(2021年5月11日)からの変更点

開発コード	変更点
STN1007603 / DE-076C	米国で、2021年6月に販売承認を取得。
STN2000100 / DE-128	日本で、2021年5月に販売承認を申請。
STN1013400	日本で、2021年7月にフェーズ1試験を開始。

開発コードの附番方法変更に伴い、新開発コード(STNXXXXXXXX)及び既存開発コード(DE-XXX)を併記しています。なお、AR-13324はAerie Pharmaceuticals, Inc.での開発コードです。

（3）設備投資、減価償却費及び償却費、製品に係る無形資産償却費並びに研究開発費

■設備投資

（単位：百万円）

	2021年3月期		2022年3月期	
	第1四半期 累計実績	通期実績	第1四半期 累計実績	通期見込
設備投資額	2,057	11,281	4,438	30,000

（注） 使用権資産の増加は除いています。

■減価償却費及び償却費

（単位：百万円）

	2021年3月期		2022年3月期	
	第1四半期 累計実績	通期実績	第1四半期 累計実績	通期見込
総額	1,105	4,404	1,125	4,820
製造経費	607	2,267	587	2,170
販売管理費	339	1,533	394	1,970
研究開発費	159	604	144	680

（注） 製品に係る無形資産償却費、長期前払費用の償却費及び使用権資産の償却費は除いています。

■製品に係る無形資産償却費

（単位：百万円）

	2021年3月期		2022年3月期	
	第1四半期 累計実績	通期実績	第1四半期 累計実績	通期見込
総額	2,448	9,920	2,040	8,900
メルク無形資産償却費	1,452	5,808	1,452	5,740
STN2000100（DE-128）*無形資産償却費	691	2,725	233	890
Ikervis（アイケルビス）無形資産償却費	168	701	187	710
その他	137	687	168	1,560

\*PRESERFLO MicroShunt（ブリザーフロ マイクロシャント）

■研究開発費

（単位：百万円）

	2021年3月期		2022年3月期	
	第1四半期 累計実績	通期実績	第1四半期 累計実績	通期見込
研究開発費	5,616	24,112	6,121	26,000
対売上収益比	9.8%	9.7%	9.4%	10.0%

（4）主要通貨為替レート

（単位：円）

通貨	2021年3月期 第1四半期	2021年3月期	2022年3月期 第1四半期	2022年3月期 （予想）
USドル	107.46	105.95	109.81	105.00
ユーロ	118.69	123.73	132.05	125.00
中国元	15.13	15.61	17.03	16.50

※上記の見込等は、現在において入手可能な情報に基づいて作成しています。実際の業績等は、事業環境変化などにより、大きく結果が異なる可能性があります。